

株式会社 西部市場運送

DX宣言書

2025年5月30日
株式会社 西部市場運送
代表取締役 川本 弘実

□ 経営理念

「BigカンパニーよりGoodカンパニーがいい！」

- 少数精鋭の集団だから出来るきめ細やかなサービスをお客様に提供し満足していただける企業でよう！
- 公共の場(道路)を職場としていることを理解し、交通ルールとマナーを遵守して安全運転に努め地域社会に貢献できる企業でよう！
- 企業の成長が社員の幸せに繋がり、ひいては社員の家族の幸せに繋がるよう、会社を盛り立てて行こう！

□ DXビジョン(2~3年後にありたい姿)

デジタル技術の活用により業務負担を減らし、安心して長く働ける環境を整えるとともに、正確なデータに基づき経営判断を可能にし、持続可能で選ばれる物流企業を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ~ 2025年12月)

戦略 「デジタル基盤の整備」

- 施策
- 複雑な勤怠管理の効率化に向けて、運行情報と勤怠情報を紐づけて一元管理できるシステムを導入
 - 点呼・運行状況・労働時間等の情報を一元管理するため、導入したツールを活用して日報を電子化
 - 紙の伝票処理にかかる事務負担を軽減するため、伝票情報のデジタル化と入力フローの簡素化を検討
 - 採用活動の一環としてホームページを活用し、より多くの方へ会社の魅力をアピール
 - DX推進の目的を社内へ共有し理解を深めるため、導入したシステムの操作説明を含めた研修を実施

➤ フェーズ2(2026年1月 ~ 2027年6月)

戦略 「データ活用による業務改善と経営判断の強化」

- 施策
- 点呼業務の負担軽減と法令順守の徹底のため、勤怠管理システムとの連携が可能な自動点呼システムを導入
 - 適正な運賃設定や運行単位の採算を可視化するため、原価管理システムを導入
 - 勤怠・運行・原価データの蓄積と可視化を通じた運賃シミュレーションの仕組みを整備

➤ フェーズ3(2027年7月 ~ 2028年6月)

戦略 「持続可能な物流体制の構築」

- 施策
- 積載効率の最適化と荷役作業の負担軽減を目指して、パレット化の推進を関係先と連携して検討
 - 人材確保と企業価値の向上に向けて、「デジタル化による働きやすさ」をアピールした採用ブランディングを実施

□ DX推進体制

- 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- 原価管理システムの導入 : 完了(~2027年6月)
- 労働生産性 : 2024年度比 5%増(~2028年6月)